

# 平成28年度第1回

## 川崎市消費生活モニターアンケート集計

### 1 調査趣旨

#### I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成25年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回へと変更した結果、市民の皆様の御協力により、普通ごみ収集量が減少し、平成27年4月から3つの処理センターでごみ処理する体制とすることができました。

今後も地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざした取組を推進していくために、3R（アンケート問2の解説を参照）を基本としたライフスタイルへの転換が求められています。そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施いたします。

#### II 節電・省エネ等について

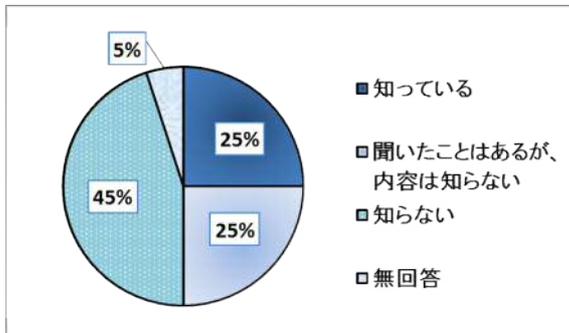
東京電力管内では、今夏は一定の予備率が確保できる見込みとなっておりますが、電力需給バランスの確保のため、引き続き無理のない範囲での節電・省エネに御協力をお願いしています。川崎市では昨年の取組を踏まえ、「平成28年度川崎市電力需給対策推進基本方針」を策定し、日常生活の中で一人ひとりが工夫し、無駄な電力を使わないことや先端技術の活用などにより、スマートなライフスタイルを定着させていくことで、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。今回は、このようなスマートライフスタイルの定着に向け、節電や省エネ等に関する意識を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

- |           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| 2 調査事項    | ①消費生活とごみの減量・リサイクルについて<br>②節電・省エネ等について |
| 3 調査対象    | 平成28年度消費生活モニター 21名                    |
| 4 調査方法    | 郵送（往復）                                |
| 5 回答数・回答率 | 21通・100%                              |

# I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

【問1】 環境に配慮した行動をする消費者のことを「グリーンコンシューマー」と呼んでいます。その行動などについて伺います。

(1) グリーンコンシューマーを御存知ですか。



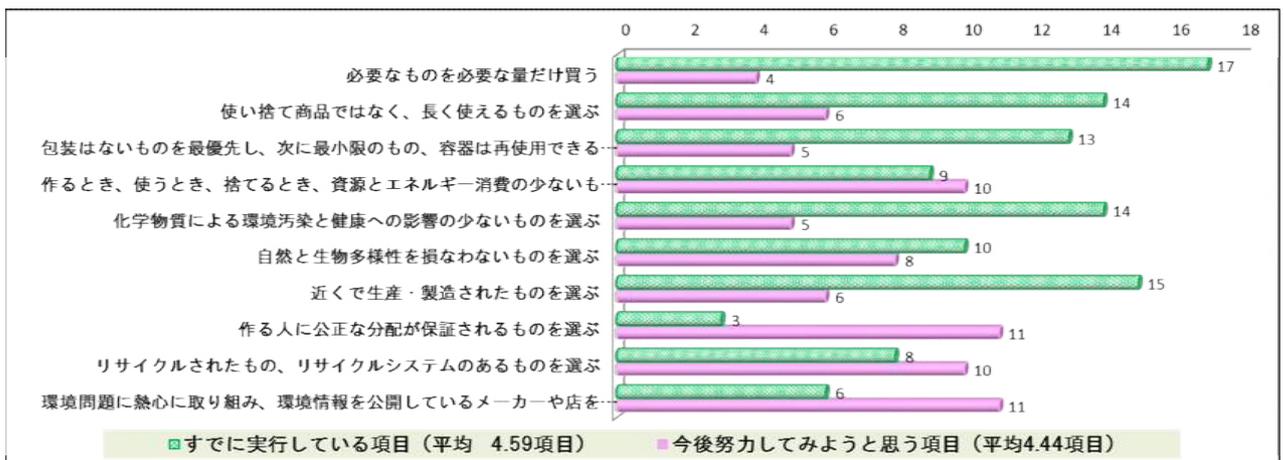
グリーンコンシューマーとは、一般的には、環境に良い商品を選んで買う意識の高い消費者、さらに価格が高くても環境に良い商品を買う消費者、環境にとって良い企業活動を行うように監視する消費者、環境に悪い商品や企業を拒否する消費者の総称として用いられています。

◎ 「聞いたことがあるが、内容は知らない」、「知らない」と回答した方が、「知っている」と回答した方を上回っています。

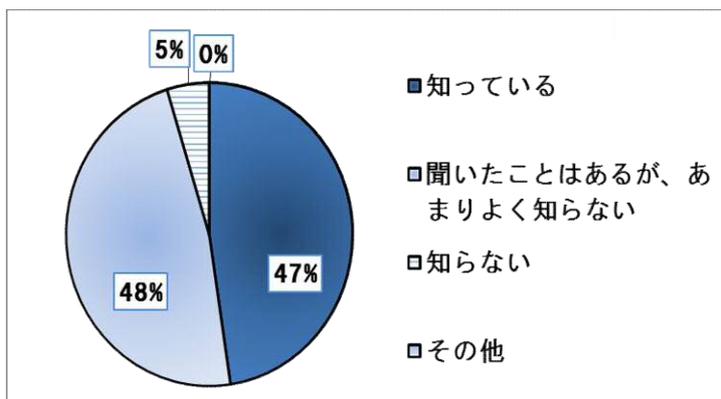
(2) グリーンコンシューマー10原則の中で、①【既に実行している項目】

②【今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目】が、あれば回答欄に○印をしてください。

グリーンコンシューマー10原則	
※ グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より	
1	必要なものを必要な量だけ買う
2	使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
3	包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
4	作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
5	化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
6	自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
7	近くで生産・製造されたものを選ぶ
8	作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
9	リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
10	環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ



【問2】 川崎市では、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して、「かわさきチャレンジ・3R（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」を策定し、取組を進めています。あなたは、“3R”という言葉を知っていますか。

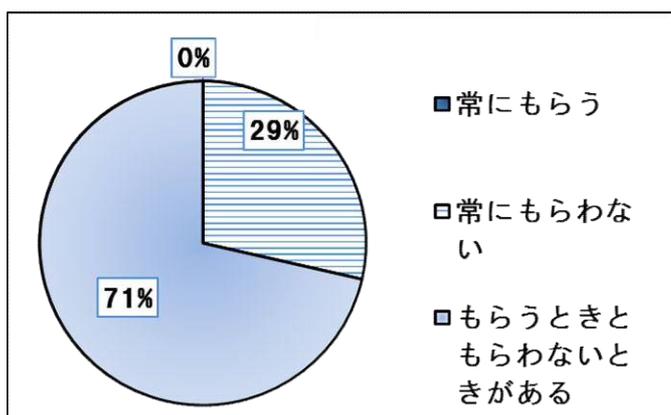


“3R”とは、  
 Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすと。  
 Reuse（リユース）⇒再利用：使える物は繰り返し使うこと。  
 Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。  
 の言葉の頭文字の3つのRのことです。

◎「聞いたことがあるが、よく知らない」、「知らない」と回答した方が、「知っている」と回答した方を上回る結果となりました。

【問3】 不要なレジ袋の削減は、日常生活の中で最も身近で誰でも取り組むことができる環境に配慮した行動です。地球温暖化対策の推進と循環型社会を構築するために、レジ袋はもらわない、配らないといった市民・事業者の身近な行動が重要です。今後も、環境配慮型ライフスタイルの確立に向けた取組の一つとして、市民・事業者・行政の協働によるレジ袋の削減や、マイバッグの使用等の取組を促進するため、次のことについて伺います。

1 買い物の時にレジ袋をもらいますか？



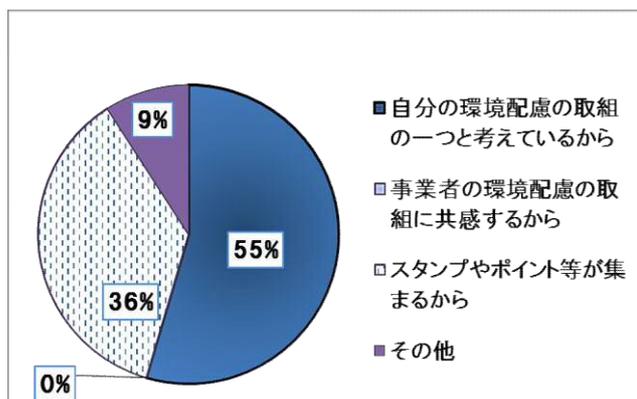
かわさき3R推進キャラクター「かわるん」

皆様に、より3Rを身近に感じていただくため、パンフレットや着ぐるみなどさまざまな場面で活躍するかわさき3R推進キャラクター「かわるん」が誕生しました。  
 （かわるんについて、川崎市のホームページでも紹介されています。ぜひ御覧ください。）  
<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000043553.html>

2 1でレジ袋を「ア 常にもらう」と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらう理由は何ですか。

◎ 今回のアンケートで「常にもらう」と回答した方は、いませんでした。

3 1でレジ袋を「イ 常にもらわない」と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらわない理由は何ですか。

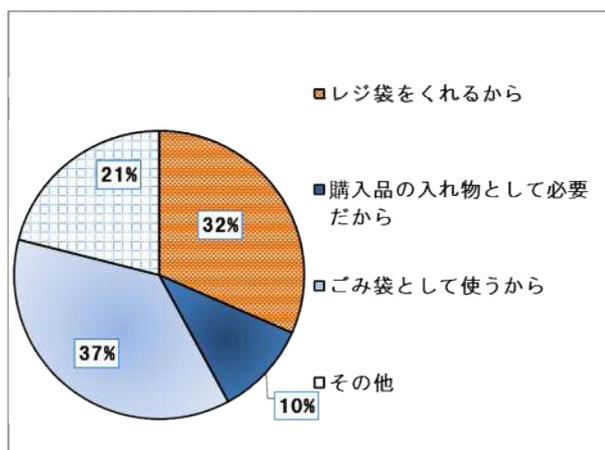


【その他回答】

- ・ 小さな買物のとき袋は不用と思います。だからエコバッグは持ち歩いています。

◎ 「自分の環境配慮の取組の一つと考えているから」と回答した割合が昨年の46%から増加しました。

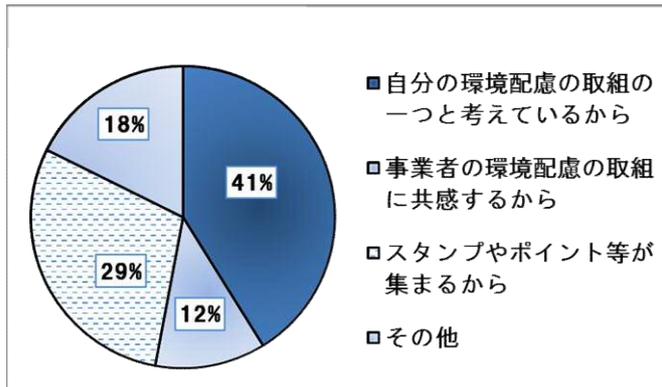
4 1でレジ袋を「ウ もらう時ともらわない時がある」と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらう時の理由は何ですか。



【その他回答】

- ・ 常にもらわないと、結局ごみ袋を購入しなければいけなくなる。不必要な時はもらわないが、汚れ物入れやごみ袋として使い道があるので、もらう時がある。
- ・ エコバッグに入りきれない時や雨の日等。
- ・ マイバッグを忘れた時や雨の日に商品が濡れるのを避けるため。
- ・ 常にマイバッグ持参しているが、主人に買い物会社帰りに頼んだ時。

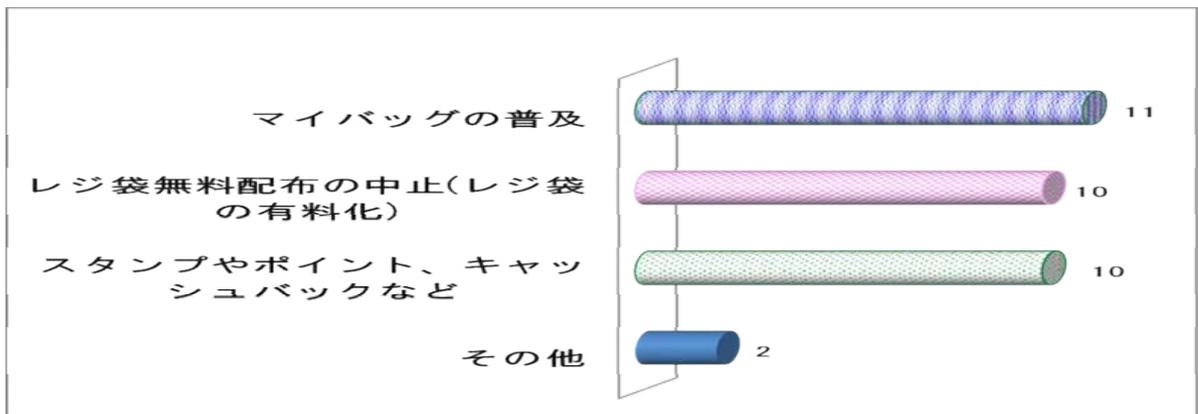
5 1でレジ袋を「ウ もらう時ともらわない時がある」と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらわない時の理由は何ですか。



【その他】

- ・ レジ袋をもらわなくても結局代替品を購入して最終的にはごみとして処分するので、もらわないこと＝環境配慮としては思えない。もらおうがもらうまいが使い方が大事だと思う。
  - ・ レジ袋が有料のため。
  - ・ マイバッグに品物が納まる時。
- などの回答がありました。

6 レジ袋削減の取組には、何が一番有効だと思いますか。（複数回答可）



【その他】

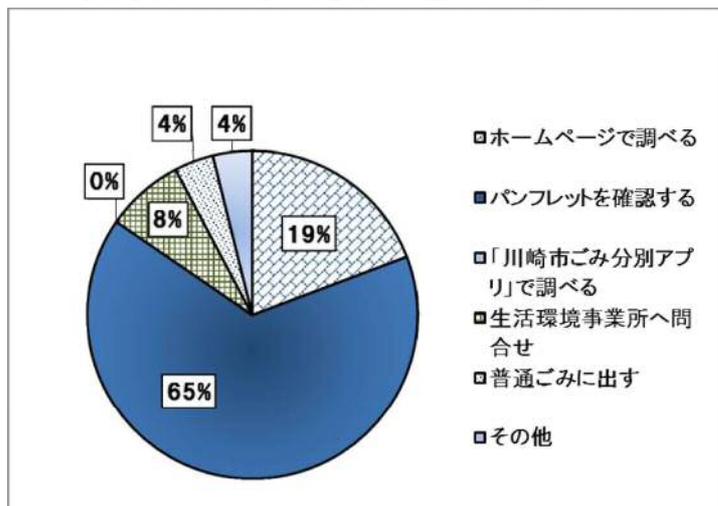
- ・ 袋をもらってゴミ箱に捨てる若者もよく見られます。マイバッグの普及は必要だと思う。
  - ・ 何故、レジ袋の削減ばかりが取り上げられるのかがわからない。必要なものだと思う。
- などの回答がありました。

◎「マイバッグの普及」、「レジ袋無料配布の中止(レジ袋の有料化)」と回答した方が、一番多い結果となりました。

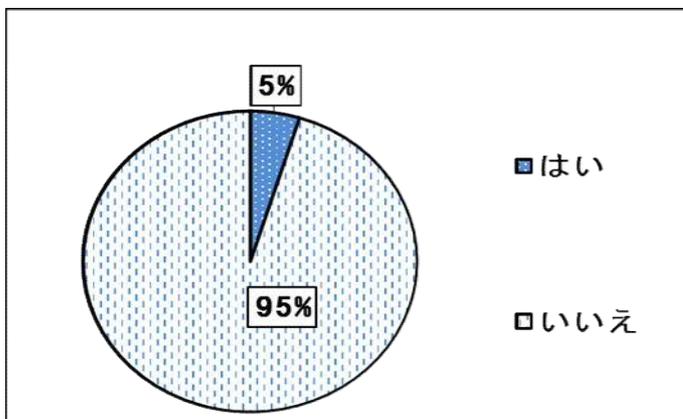
地球温暖化対策の推進と循環型社会の構築するために、「レジ袋はもらわない、配らない」といった市民・事業者の身近な行動が重要です。今後も、環境配慮型ライフスタイルの確立に向けた取組の一つとして、市民・事業者・行政の協働によるレジ袋の削減や、マイバッグの使用等の取組を促進していきます。

【問4】 資源物とごみの分別について伺います。

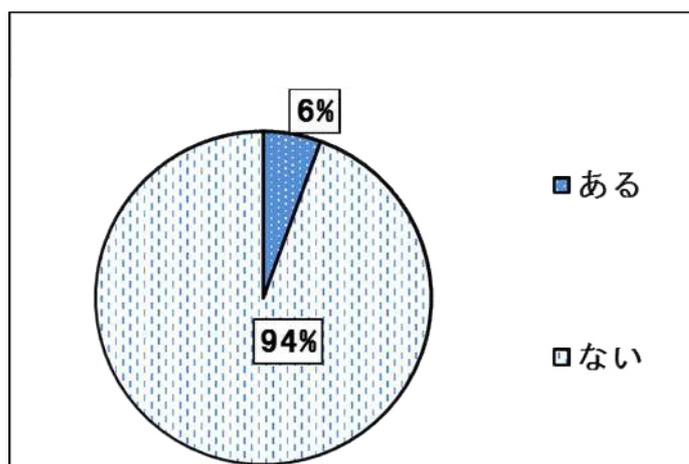
1 資源物とごみの分別に迷った時にどうしていますか。



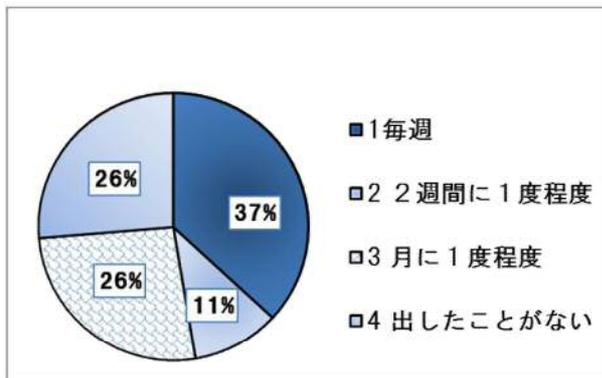
2 資源物とごみの分別に迷った時に活用できるスマートフォンアプリ「川崎市ごみ分別アプリ」を知っていますか。



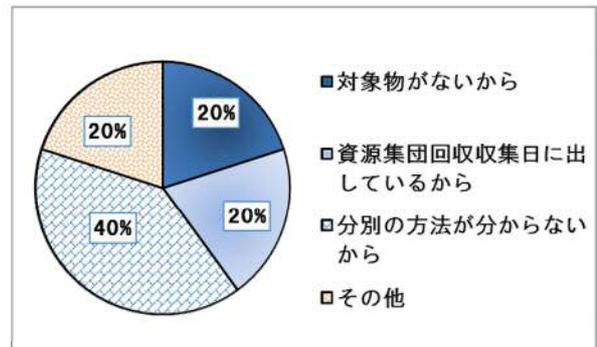
3 「川崎市ごみ分別アプリ」を使ったことがありますか。



【問5】 『ミックスペーパー』の分別収集について伺います。どのくらいの頻度で出していますか。



【問5-①】 出したことがない理由をお答えください。



◎ 4割の方が「分別の方法がわからないから」と回答しています。

【問6】 『プラスチック製容器包装』の分別収集について伺います。どのくらいの頻度で出していますか。



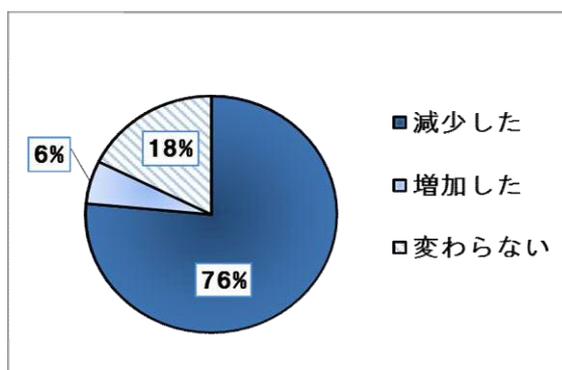
【問6-①】 出したことがない理由をお答えください。

◎ 対象物がないから…100%

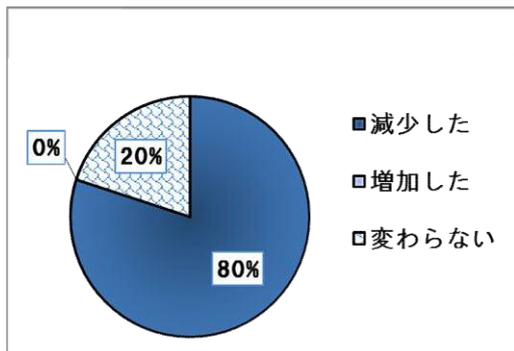
◎ 8割以上の方が「毎週」と回答しています。

【問7】 問5及び問6で1～3と回答した方にお伺いします。『ミックスペーパー』及び『プラスチック製容器包装』の分別後、普通ごみの排出量が変わったという実感はありますか。

《問5 『ミックスペーパー』》

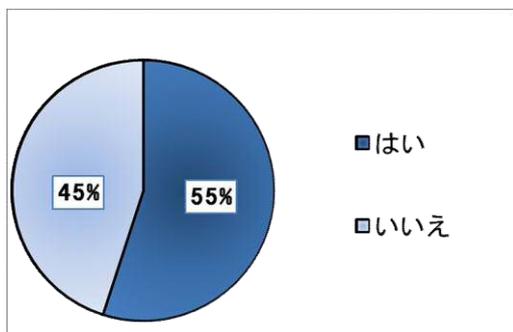


《問6 『プラスチック製容器包装』》



◎ それぞれの項目で「減少した」と回答した方の割合が一番多くなっています。

【問8】 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。

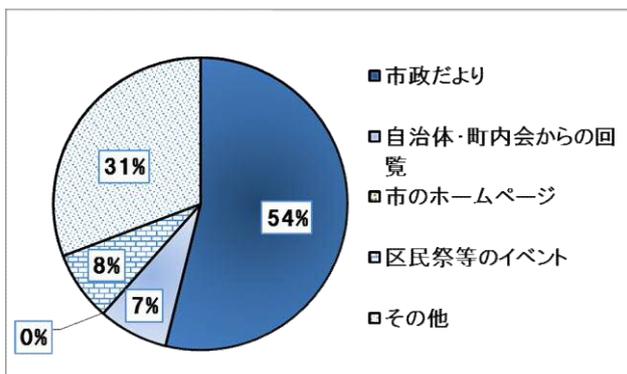


回収の対象としている小型家電は、携帯電話やデジカメ等、長辺が30cm未満で30cm×15cmの投入口に入る家電製品です。



【はいの方】 【問8-2】

それは、どこでお知りになりましたか。(複数回答可)



【その他】

- 役所へ行った時に回収ボックスを見て回収していることを知った。
  - パンフレットを見て知った。
- などの回答がありました。

《使用済小型家電に関するリサイクル法》

正式名称：使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律

施行：平成25年度4月1日

目的：使用済小型電子機器等に利用されている金属その他の有用なものの相当部分が回収されずに廃棄されている状況に鑑み、使用済小型電子機器等の再資源化を促進するための措置を講ずることにより、廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。

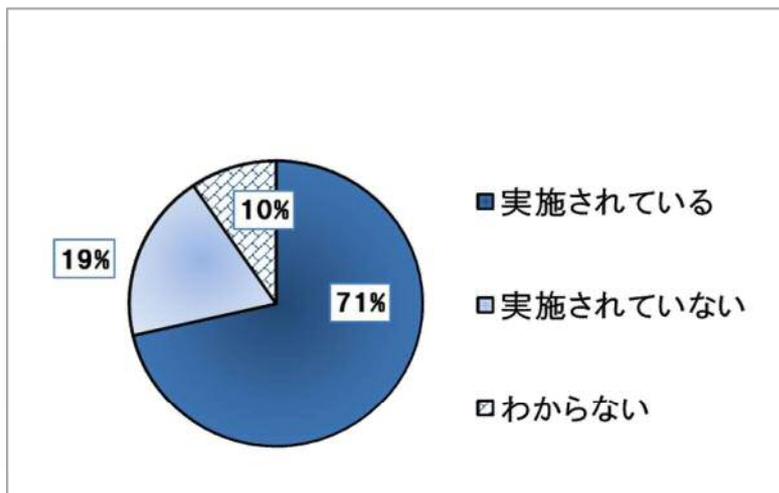
【問9】 次のとおり、問8の品目について、拠点回収場所を設置しておりますが、新たに設置する場合、どこに設置してほしいですか？

区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー堤根・王禅寺  
橘リサイクルコミュニティセンター、かわさきエコ暮らし未来館  
王禅寺エコ暮らし環境館

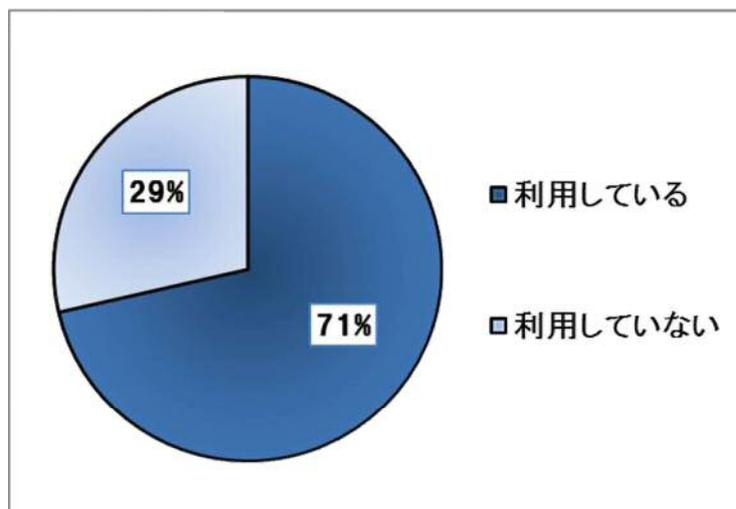
- JR・私鉄の駅（駅員のいる場所）
- スーパーやショッピングセンター
- 銀行、郵便局
- 広い駐車場のある所

などの回答がありました。

【問10】 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。



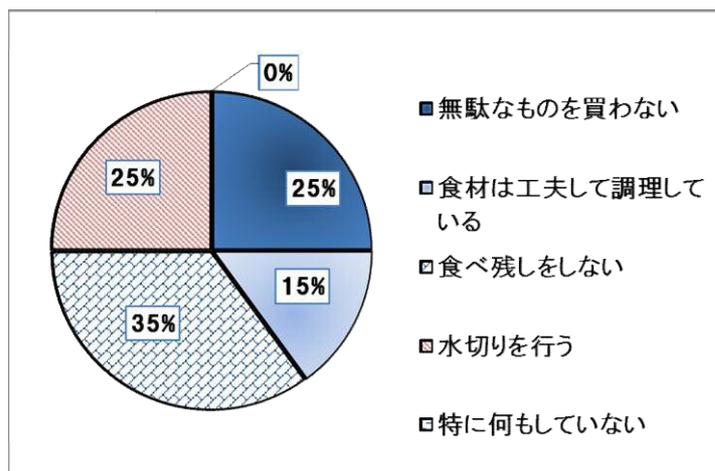
【問11】 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。



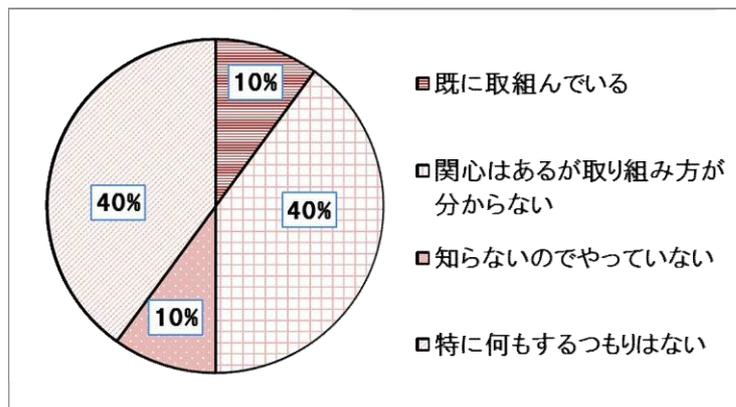
『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を持ち寄り、回収業者に一括して引き渡す活動です。ごみの減量・リサイクル推進のため、地域で行われている『資源集団回収』のご協力をお願いします。

【問12】 生ごみ対策として、何か取組をしていますか？

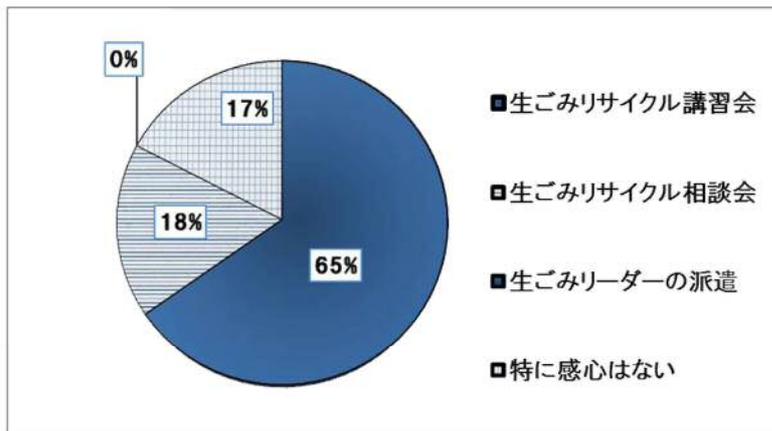
※ちなみに、生ごみの80～90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題なども軽減できると言われています。



【問13】 生ごみはどうしてもごみとして出るものですが、ごみとして出さない取組としてリサイクルがあります。生ごみのリサイクルについて伺います。



【問14】 生ごみの減量化・資源化の取組として、家庭用生ごみ処理機の購入費助成のほか、生ごみリサイクルの手法について紹介やアドバイス等を行う取組をしていますが、次のいずれかについて、受けてみたいとか行ってみたいという関心をお持ちですか。



◎「生ごみリサイクル講習会」の関心が最も高い一面、3割の方が「特に感心はない」と回答しています。

【問15】 今後は、地球環境全体を視野に入れ、「ごみをつくらない社会」「市民・事業者・行政が協力し合える関係」が必要だと思われます。私たち一人ひとりが、資源を大切に、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくと共に、そうした気持ちを実際に生かしていかなければなりません。『実現に向けての御意見』や『これからの決意』、『わかっているが、なかなかできないこと』などがございましたら御自由に御記入ください。

【 ア 実現に向けてのご意見 】

- ・ 近所づきあいが少ない方にも出来るシステムがあればいいと思います。家庭訪問のようなものでしょうか。
- ・ 一人ひとりが努力をするしかない？市でもまだまだアピールが必要では？
- ・ 過剰包装をできるだけ少なくする。
- ・ 発表会のドレス等は毎回買わず、お友達と貸し借りすれば2年に1度程度の購入で済む。
- ・ 小間切れ肉等はトレーではなく、袋販売にすれば省ごみになる。
- ・ 一人ひとりがごみに対する知識を高める。
- ・ 小・中学校の子どもにも意識してもらうために、学校でも教えること。
- ・ リサイクルによって生活が豊かになるという実感するような事を考えてほしい。
- ・ 現在のリサイクル品をもっと大規模にやってほしい。
- ・ マイバッグ等、再利用・リサイクル可能なものを取り入れてごみをつくらない意識を持たせることが大事だと思います。

- 以前に過剰包装が問題となり、デパートなどで控える取組みがなされたが、今は再び不必要な包装が当たり前となっている。5年前の原発事故直後は省電力の取組みが徹底したが、最近やり戻し状態を感じる。
- 一人ひとりの意識を高めるためにはどうしたらいいんでしょう？ ごみ集積所に散乱している生ごみを見る度、考えさせられます。私たちにできることをやらなければいけないですね。
- 生ごみといえば野菜をイメージしてしまいましたが、例えば、葉付き大根も蕪も捨てる部分は何もないし、人参はともかくじゃがいもは多少のごみは出ますが、工夫次第では生ごみゼロの料理が作れます。題目とまではいかない小さなことの繰り返しですが、ごみ減量への実現のひとつと思い日々奮闘しています。
- 関心を持ち、出来る事から行っていきたいと思います。
- 無駄な包装をしないようにする。リサイクルでの再利用方法を提案してほしい。
- 商品のパック販売を極力減らし、量り売りを増やす業者側の努力が必要。
- ごみが出るのは仕方ないと思っていますが、そのごみをこれ以上増やさないと、それぞれ一人ひとりの自覚が大事だと思います。その自覚こそがごみの減量・減少につながると思います。
- ごみを有料にする。
- 「ごみの減少」のために長く使える物を買う。生ごみを減らすため水切りをするなど呼びかけるのもいいが、そういうことをすると「こういった良いことがある」など方向を変えたアプローチも必要であると思います。
- 何よりも一人ひとりの意識が重要だと思います。小学校や中学校の学習の中にも取り入れ、子どものうちから意識づけを行っていく必要があるのではないかと考えます。その上でできることから行えば実現に近づくのではないのでしょうか。
- 「ごみを少なく」と消費者は思っているにも、実際は売られている物が過剰包装でごみになるものが多いです。生産側の方の意識を変える必要もあるのではないのでしょうか。
- プラスチック製容器、ペットボトル、空き缶、びん、ミックスペーパーなど分別回収がなされ、ごみが減って良かったと思います。

## 【 イ これからの決意 】

- ティッシュペーパーをたくさん使用してしまいがちなので、子どもに使用する場合などは半分の大きさに切ったものを使用させてみようと思います。
- 確かにごみを減らすのは重要なので、余計なものは買わないようにしています。あとは「断捨離」の精神で。
- 自分ではできる限り努力しているが、多くの人の方を変えていければと思う。
- 意識を持ち、できるだけリサイクルできるものはする。
- ごみを一つでも減らすように家庭が丸となって取り組む。
- ごみの分別、資源物の回収等に積極的に参加していきたい。
- 日頃から環境問題に関心を持ち、具体的に実践していきたい。
- 一人ひとりの「ごみを増やさない意識の徹底」が大切と考えます。若い人たちにはSNSなどを利用してごみの減らし方などを教えていく機会があると良いのではないのでしょうか。
- 未来の子どもたちのためにも今、自分が無駄なごみを流さない、出さない事が大事だと思います。
- 生ごみを抑え、簡単で美味しく作れる工夫料理が身体に最良なことだと実践し、子・孫たちに作る場所を見せることを増やしながらか環境の話なども同時にしていきたいと思います。
- 便利、簡単な物（事）に流されず、まめに動き、良いものを大事に長く使っていきたいと思います。
- グリーンコンシューマーになるべく努力する。
- 常に減らすよう努力する。
- 私自身買ったにもかかわらず、うっかりして食材を傷ませてしまうことがまれにあります。「これは本当に必要な物なのか？」の吟味は改めて必要だと感じました。
- まずはできること（無駄買いをしない、食べ残さない）を継続し、生ごみリサイクル講習会にも参加してみたいと思っています。
- 生ごみをコンポストにより堆肥化するリサイクルに取り組んでいきたいと思っています。不用品はバザー、古着（ファイバーリサイクル）などに出していきたいと思っています。

## 【 ウ わかっているが、なかなかできないこと 】

- 生ごみの水切りは、いつもごみの処理などの話を聞くたびにやらなくは！と思うのですが、なかなかできていません。しっかりやっていかなければと思います。
- スーパーなどで安売りされていると、ついつい買い過ぎることがあって、なかなかごみの減量が出来ないことがあります。
- 肉や魚のトレーを洗って分別したほうが良いのだろうが、洗った時にシンクが汚れて食中毒につながるのではないかと感じたり、洗っても結局週1回しかプラごみ回収がないので、臭いが気になり洗わないまま普通ごみに出すことが多い。

また、東京で分別がほとんどなくなったこともあり、結局燃やされているのだろうと思うと、そこまで熱心になれない。確実に分別の効果が上がっていることを示すデータでもあれば、もう少し力が入るのかも知れない。

- リサイクル、分別。
- ごみをなるべく出さないように使える物は使う。
- 外出先でのごみの処理。
- リサイクルによって生活が豊かになるという実感するような事を考えてほしい。
- 食べ残して捨ててしまう。多く作り過ぎない、計画的に買い物をするなど、気を付けたい。
- レジ袋についても実家へ行ったときは仕方なく袋を持ちスーパーへ行きますが、小さい子どもたちを連れていくのに1つでも荷物を少なくしたいのも事実。荷物の大小や重さではなく、神経を遣わなくてはいけないことを減らしたい。レジ袋はもらえて本当にありがたい。

食品の期限が過ぎてしまって捨てるはめになった時は、情けなく思います。

- 大事な資源の紙を、主人の鼻炎により使用済みティッシュペーパーの量が多いのとストーマ保持の私には再生紙トイレトペーパー需要が他の方よりも多量で減量実現に向けては困難です。また、抗生物質や抗がん剤の副作用により両腕関節の痛みが出るようになってからは掃除機が重く、雑巾を絞ることも辛くなり、ついついコロコロウェットシートを使用してしまい、紙の減量には至らずです。
- 例えば、納豆パックはねばねばを落とすのが大変。あわせ調味料の袋など油分の多いものは、下水に流したくないので、普通ごみに出しています。また、段ボールは子供会の回収がありますが、月1回なので待ち切れず、普通ごみに出してしまいます。

- 川崎市が取り組んでいる環境・資源対策の具体的内容をパンフレット・インターネット等からチェックをこまめにすべきとは分かっているのですが、実際にはなかなかできないのが実情。
- 食べ物でも日用品でもなくて困る時のことを考えるとついつい買い置きをしてしまう。
- 以前より生ごみ処理機の購入を検討はしているのですが、費用の問題で先のばし状態が続いています。今回のアンケートで助成補助の情報を得たので前向きに検討したいと思います。
- 天ぷら油（廃食油）から石けんを作るリサイクルがありますが、石けんかすがあり、合成洗剤を使うことが多いです。
- 石けんは環境にやさしいと分かっているけどたまに使うくらいです。

【 エ その他御自由に御意見をお願いします。 】

- 粘り強くアピールしていくしか方法はないと思います。時にポイントなどを付けて、エコポイントのような交換品を用意してもらえると良いと思います。
- 雑多に置かれている集積場を片付けながら収集している環境局の方をよく見かけます。そういう姿をみていると頭が下がります。
- 自治体によって分別方法にバラつきがあり、また川崎では回収回数も減り、分別の種類も増えました。不便になったという意見をよく聞くし、自分自身も感じます。その不便さの成果が見たいです。
- おみやげ品をもらった時のごみの処理や、その物の環境の影響について相手に説明はなかなかしづらい。
- 赤ちゃんの紙おむつなどももっと小さくできないのでしょうか。
- 食事の後の皿や茶わん等洗剤をなるべく使用しないようにしていますが、スポンジ等の開発で洗剤を使わなくてもよい物を使ってほしい。
- びん等を減らして、それをプラスチックに出来ないか？
- 環境に配慮した行動を身につけるには、小さい頃からの環境教育が大切だと思います。

- 定年退職になるまでは忙しく、環境の事などの思いは欠けていました。高度経済成長へと夢中で突き進んできた私でしたが…  
考えている暇もないほどのスピードで温暖化は進み、年々地球変動は深刻な状況の中で、何でも手に入る今の日本で子どもたち、孫たちに緑の大切さを教えていけたらと思っています。  
時間に余裕ができた最近の私を感じる事で特に多いのは、消費者の食品保存への過大なプラスチック包装への満足度、安心度が高く、商店だけを責めるのではなく、消費者である私たちの意識改革が一番重要（厚く立派なプラスチックに入っている商品が売れている自体が問題）だと思います。
- 買い物にマイバッグを持っていくことを意識し始めた頃、あき缶、ペットボトル用のごみ入れがなくなり、びん以外は袋に入れて出すことになりました。また、プラごみ用にも袋が必要です。リサイクルの流れに逆行しているのではと思ったのですが、今回、パンフレットを見て委託業者をお願いしているのを知り、納得しました。
- ごみ出しに関しては迷うこともしばしばで、その1つにプラごみを洗ってきれいにする事と、下水に汚れを流してしまう事の罪悪感とのどちらを優先するかという事です。  
また、プラごみの選別作業でごみを取り除くとありますが、どのようなものが混じっているのでしょうか。具体的にわかると間違いを直せるのですが…
- 買い物（スーパー等）をしていても、無駄な包装が多いように思います。店側としても極力容器を再利用できるように進めてほしい。
- 新聞折込等で環境・資源物等に関するクイズを出し、モニター委嘱式で頂いたようなグッズを正解者にプレゼントする等すれば、子どもも含め、関心が高まるように思います。
- 家庭の主婦としてのごみの減量って難しいとつくづく思っております。ごみを減らすことは本当に難しいですね。
- アの項目で「ちがう方向からのアプローチ」と書きましたが、例えば”生ごみを減らす”という事に関しては、いつもは捨ててしまっている野菜の皮を素揚げして食べることをおすすめしてはどうでしょうか。私はごぼうの皮を素揚げしたものをおつまみなどで出しています。  
「捨てるもので出来るもう一品レシピ」のようなものを作ってくれたら助かると思うのですが。

- ごみの削減には個人の意識、取り組みが一番重要だと思います。その為にはある程度の強制も必要だと思います。例えば、街中からごみ箱を撤去することで、ごみは持ち帰り、自分で処分しなければならないようにしたり、レジでは有料でも袋を渡さないようにすれば、マイ袋がないと買い物に行けないと、必然と個人に意識はされるのではないだろうかと思います。
- レジ袋はすべてのスーパーで有料化すべき。条例を作成してほしい。
- プラスチック製容器包装に紙のシールが貼られているものがたくさん多いです。いちいち紙をはがすのが大変。紙のシールが貼られたままでプラスチックの方に入れて良いのでしょうか。又、「プラスチックそのもの」と「プラスチック製」の区別を一般の我々が意識してできるのでしょうか。もっと分かり易くインフォする必要ありだと思います。
- 大手の企業に見学に行った時、とても細かくリサイクルの種類を分別して、極力ごみを出さない取り組みがなされていて感心した覚えがあります。普及すれば良いと思いました。



【名前：キレイクン】

プロフィール： ごみの出し方、集積所の管理、清潔の保持等、集積所に対する市民意識の高揚を図ります。

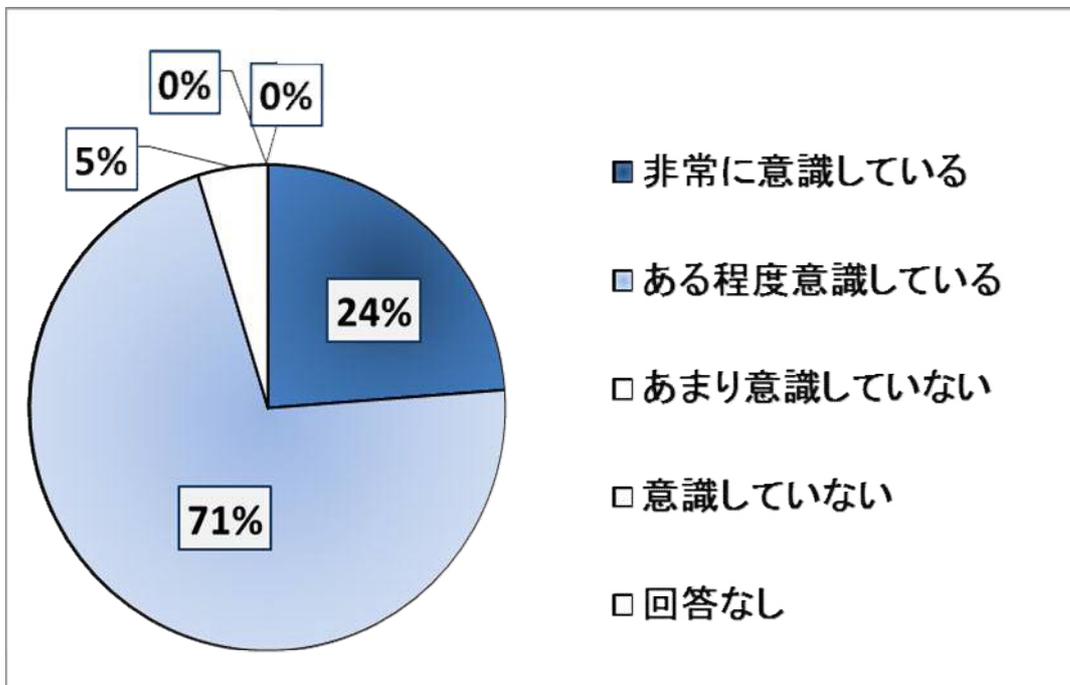


【名前：かわるん】

プロフィール： かわさき3R推進キャラクター。生まれも育ちも川崎で、3Rの大切さを伝える妖精です。耳と体の3つのRで「3R」を表しています。

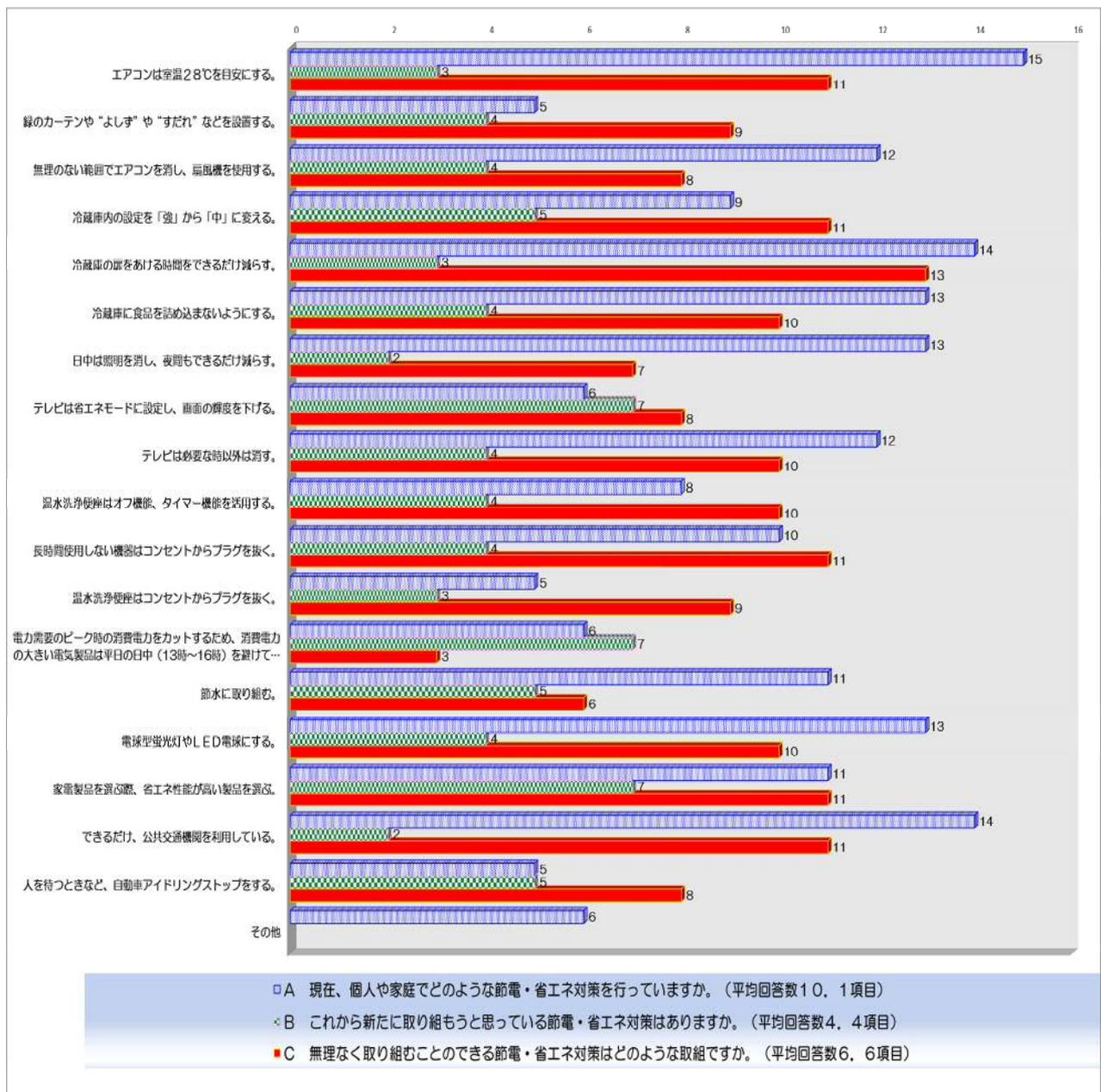
## Ⅱ 節電・省エネ等について

【問1】 日常生活において節電や省エネを意識していますか。



【問2】 家庭で取組んでいる（取組む予定）の節電・省エネ対策についてお聞きます。

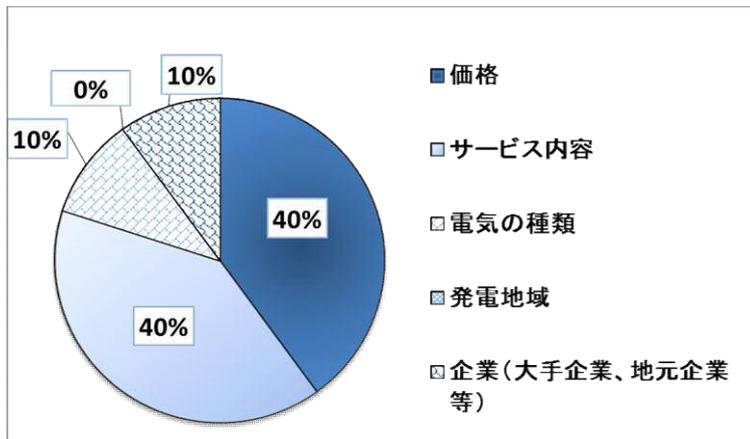
- A 現在、個人や家庭でどのような節電・省エネ対策を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）
- B これから新たに取組もうと思っている節電・省エネ対策はありますか。（Aで選択した項目を除き、あてはまるものすべてに○）
- C 無理なく取組むことのできる節電・省エネ対策はどのような取組ですか。（あてはまるものすべてに○）



### 《問2のその他意見》

- できる限りエアコンは使用しない。扇風機やうちわを使用。電力は1ヶ所で使用(リビング)。
- 太陽光発電を検討している。
- 炊飯器は保温にしない。
- シャワーの温度を下げる。
- アンペアを下げる事が出来ればと思っています。
- 早寝早起き。なるべく太陽光を利用し、照明を使う場はなるべく家族一箇所に集まり、団らんする。

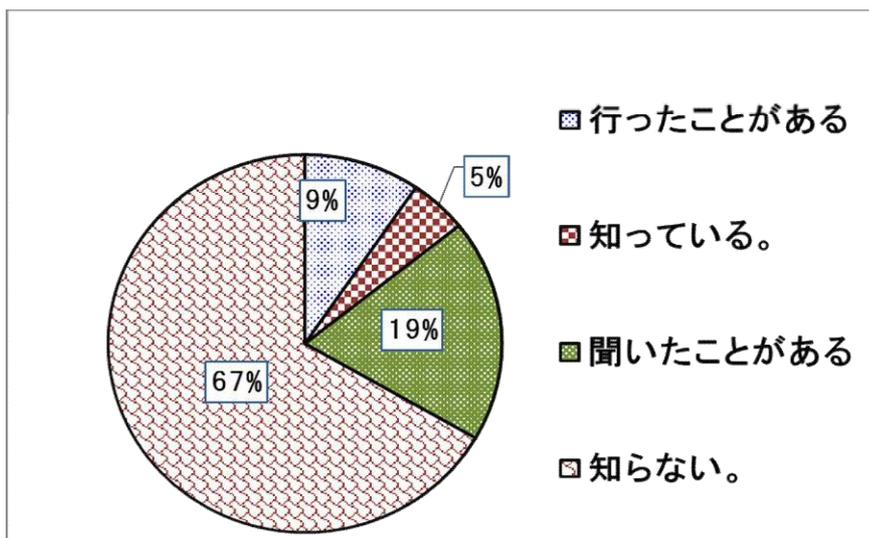
【問3】 平成28年4月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際、何を重視しますか。



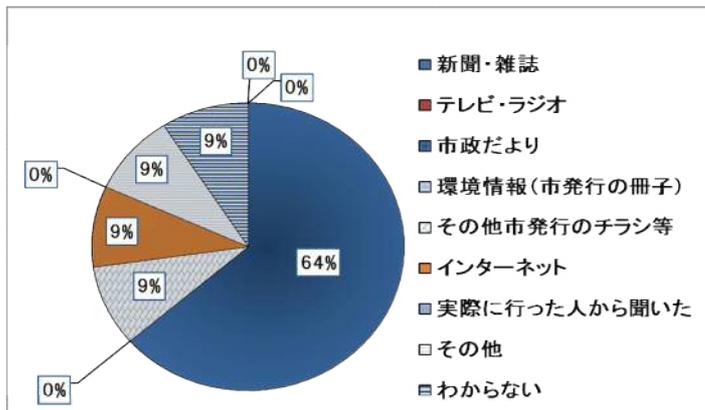
【問4】 川崎市では、平成22年12月から「川崎市地球温暖化防止活動推進センター」を指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。「地球温暖化防止活動推進センター」では、高津市民館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

(1) CCかわさき交流コーナーについて、①～④中でもっとも近い回答に、○印を付けてください。

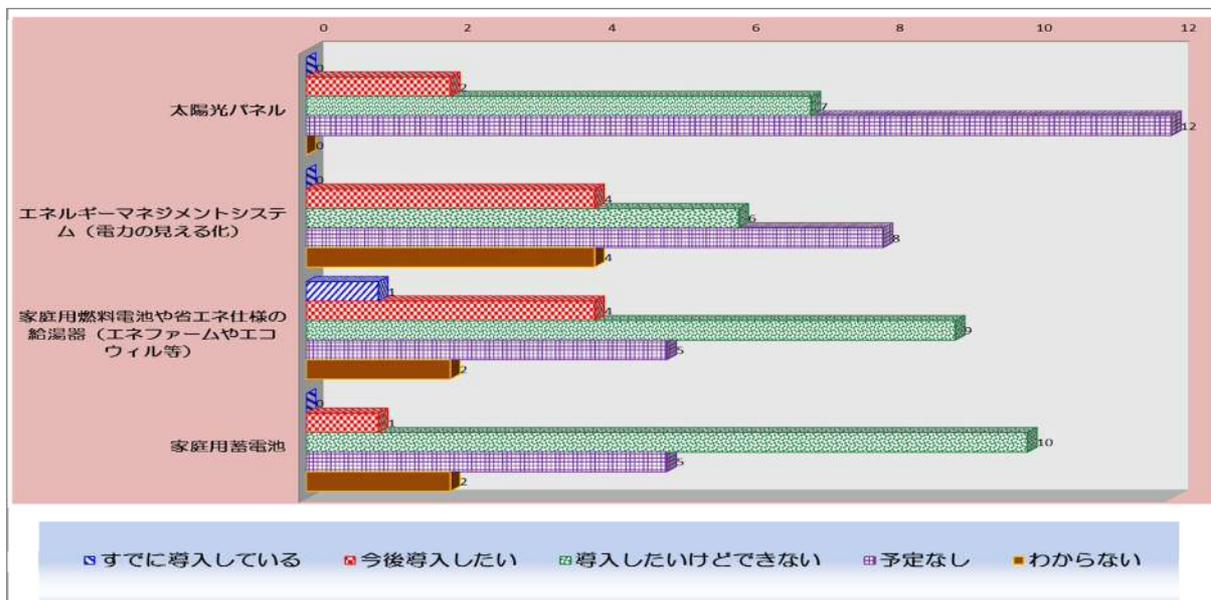
①行ったことがある。②知っている。③聞いたことがある。④知らない。



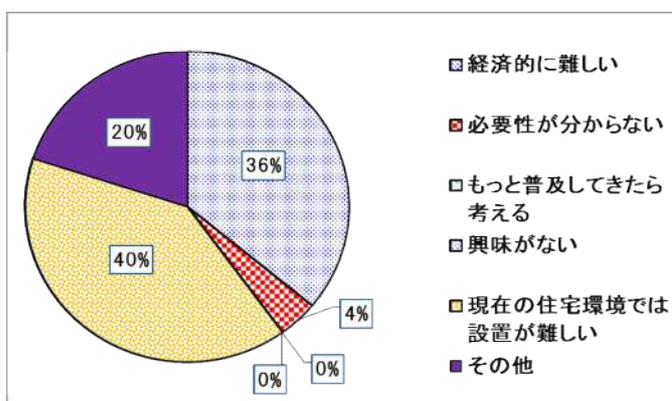
(2) 問4の(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで『CCかわさき交流コーナー』の情報を得ましたか。



【問5】 次の機器について、既に導入しているものはありますか。また、今後導入したいと思いますか。



【問6】 問5の1「太陽光パネル」に関する質問で「3 導入したいと思うが導入できない」「4 導入する予定はない」と回答した方に伺います。導入できない(しない)理由は何でしょうか。



◎「現在の住環境では設置が難しい」と答えた方が40%で、以下、「経済的に難しい」、「その他」の順となりました。

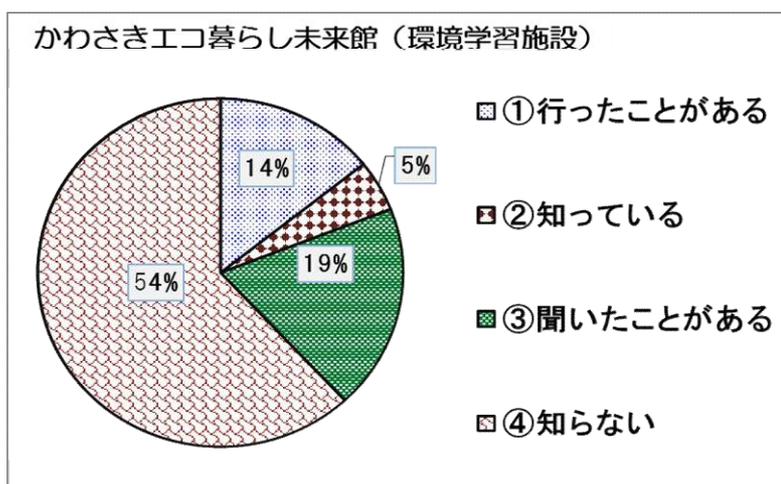
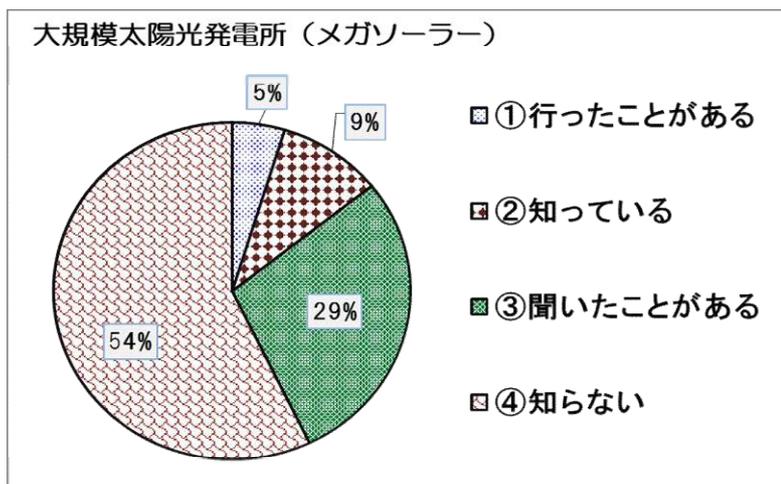
《その他の理由》

- ・ マンションなので難しい（複数意見あり）。
- ・ あまりメリットがない。

【問7】川崎市内には、国内最大級の大規模太陽光発電所があります（メガソーラー）。また、浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化について体験的に学べる「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

再生可能エネルギーの普及に向けた様々な取組を川崎市では行っているところですが、今後の普及・啓発の取組の参考とするため、次の問にお答えください。

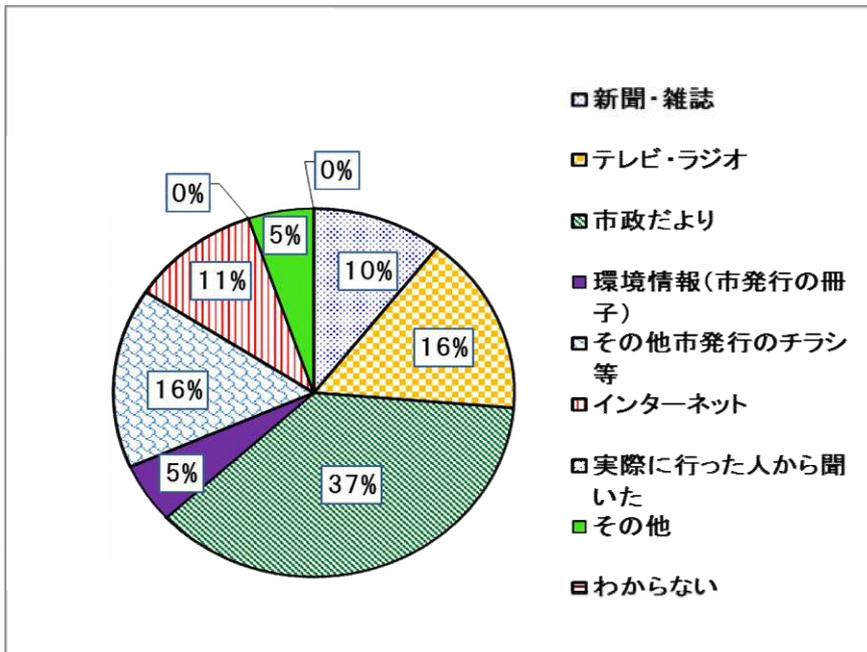
- (1) 川崎市内にある「大規模太陽光発電所（メガソーラー）」、「かわさきエコ暮らし未来館（環境学習施設）」についての質問です。それぞれについて、最も近いものを選んでください。



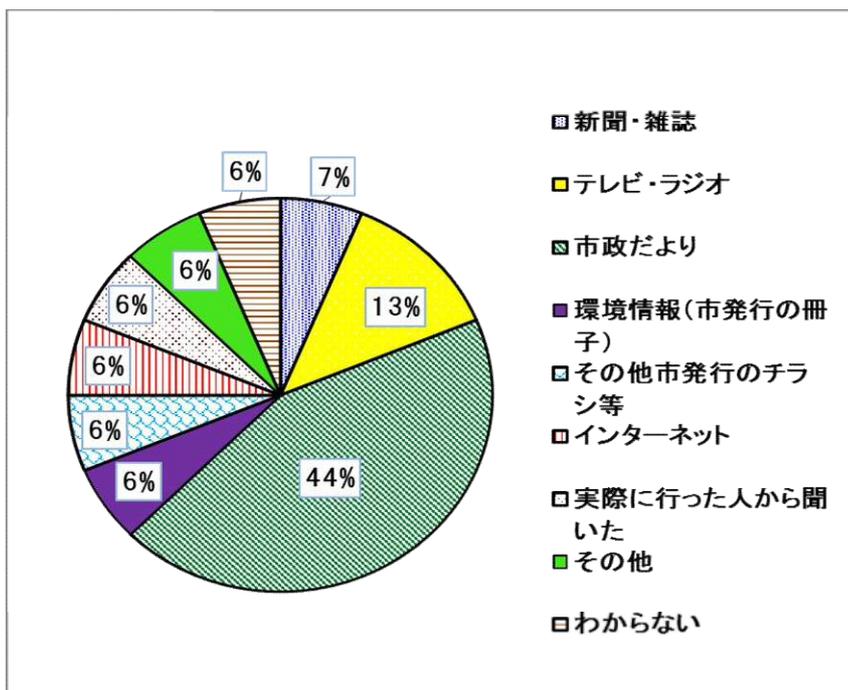
◎「知らない」と答えた方が「聞いたことがある」を上回り、過半数を超えています。

(2) 問7(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで各施設の情報を得ましたか。

1 大規模太陽光発電所（メガソーラー）



2 かわさきエコ暮らし未来館（環境学習施設）



◎ それぞれ、「市政だより」と答えた方が一番多い結果となりました。

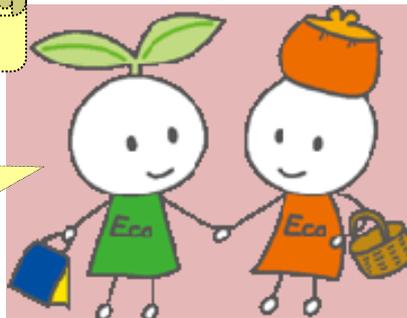
【問8】 節電対策や省エネ等についての御意見等ございましたら、自由に記入して下さい。

- 節電はいつも気にかけているが、家の中ではどうしても誰かが電気のつけっぱなし、テレビのつけっぱなしがある。気がつくたびに消してはいるが、どうしても習慣づかない。
- 省エネとは言いますが、役所が昼から暗すぎるとあまり良い感じがしません。なので、LEDを使用するなど、ある程度の明るさはキープしてほしいです。あとは、なるべく多種類の発電方法も使って、消費者に選択の余地を与えてほしいと思います。
- 限度一杯実施しているので、これ以上は方法がない。
- 子どもが小学校に上がって、初めてベルマークのありがたみがわかりました。それ以来、ベルマークありなしだと、ありを選ぶようになり、牛乳パックもベルマーク特典の受けられるテトラパックを選んでいきます。目に見えて還元される特典があれば、取り組むのに力が入ると思う。
- エアコンの設定温度については、特に夏場について28度にすることは健康問題もあるので適度に…というのが一般市民にはふさわしいのではないか？
- 工場や会社など多くの電力を消費する場所への協力をもっと求めるべきでは？
- 今年は暑い日が続くそうなので、エアコンは無駄に使わないよう節電、節水を心がけます。
- 身近なところでの節電対策の一つ  
ガス：種火のまま放置しない。  
電気：冷蔵庫、テレビ、ビデオ以外は必要でない時はコンセントを外す。
- 原発をなくせるよう省エネに努めたいと思います。

- 家庭の主婦として節電や省エネに気をつけていますけど中々成果が出ません。こちらの方も難しいですね。
- 市の電力使用量の平均値、費用（コスト）について知りたい。
- 太陽光パネルなど劇的に効果が見込める設備はまだまだお金がかかる為、エアコンの温度を工夫するなどの小さな事にとどまっている状況ではあります。
- エアコンの使用を抑えるための方法として「打水」がある。企業等が打水をできるように「地下水の使用制限の緩和」が必要
- 意識はしているもののなかなか取り組めていない事実や、今回のアンケートで身近に取り組める節電対策、省エネを知ることができました。

エコちゃんず

頭の上に葉っぱを  
のせているコは、  
「ろじいちゃん」



頭の上にお財布を  
のせているコは、  
「のみいちゃん」

「環境と経済が仲良くすること」が、これからの未来を作ります。